



芦安中学校だより

第 11 号

校長 丹澤 博

2021. 3. 18

今年度は入学式・始業式が延期され、臨時休業日は5月22日まで続きました。そして、5月24日(日)に入学式、5月25日(月)に始業式を行うという、過去に例のないスタートになりました。臨時休業中の欠課時数を取り返すために、月～金曜日まですべて6校時まで授業を行ったり、夏休みを短縮するなど、生徒の皆さんにも大変なお願いをし、予定された授業時数のすべてを実施することができました。山小屋が閉鎖しているために「全校登山」が実施できないなど残念なことも多々ありました。その一方で成果ではないかと考えられることもあります。初対面の外国の方と2度にわたりオンライン上で英会話できたこと(短い生徒で数分、長い生徒は10分以上の英会話ができました。)、体育館いっぱい広がっての太鼓演奏(叩きにくかったと思いますが)では他の人に頼らない演奏(自立した演奏)ができました。授業では、密にならないことを考慮して「教える」とは言いにくかった分、自分で勉強する(自分で調べる)ことも増えました。修学旅行も3日間職員生徒全員で見学地をまわりましたが、それにも良さがありました。これらの成果と課題を踏まえて、来年度以降の教育活動を推進したいと考えています。

第74回卒業証書授与式

芦安地区の山々に春の訪れを感じさせる3月11日(木)芦安中学校第74回卒業証書授与式を挙行了しました。南アルプス市教育委員渡邊正義様、芦安小中学校PTA会長倉園哲也様にご臨席を賜り、卒業生、保護者、在校生全員が出席する中で、芦安中学校第74回卒業証書授与式を挙行することができました。



校長より、卒業生は、日々の学習・小学生への英語絵本読み聞かせ・オンラインでの英会話・部活動・体育館いっぱい響かせた力強い太鼓演奏・オンライン合唱等、そのどれにおいても一・二年生をリードしてくれたこと、例年通りということが全く通用しないこの一年の中で試行錯誤しながら活躍する姿は芦安中学校の良き伝統として着実に引き継がれていくものと信じていること、激動の時代・正解の見えにくい時代だからこそ人との「つながり」・「絆」を大切にしたいこと、夢を見失った時は芦安中の全校登山において決して一人では登ることのできない山にみんなと協力して登ったことや何かの縁でこうして8人で頑張ってきたことを思い出して欲しいこと、じっくり力を蓄えて勇気がわいてきたら次の一步を踏み出して欲しいことなどを述べました。式は2部構成で行い、在校生は「送辞」「YELL(オンライン合唱)」を、卒業生は「答辞」「感謝の気持ちや自分の夢」「正解(オンライン合唱)」を披露してくれました。最後は自分たちで録音した「旅立ちの日に(合唱)」が流れる中、会場から未来に向けて第一歩を踏み出しました。

(送辞より抜粋)先輩方には、いつも優しく時には厳しくご指導していただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今年度は新型コロナウイルスの影響により、とても短い一年だったと思います。そんな中でも、三年生教室から聞こえてくる皆さんの声は、学校中を明るくしてくれるパワーがありました。例年とは違った白峰祭は大変なことが多かったけれど、心に残る特別なものとなりました。特に太鼓演奏では、先輩方が私達を引っ張ってくださいました。三年生とともに演奏した「夜又神太鼓」や「勇気」は、今も私たちの心にしっかりと残っています。卒業生の皆さんの何事にも一生懸命に取り組む姿を私達は忘れません。

(答辞より抜粋)当たり前に登校し、あいさつし、授業を受けるという日々も今日で終わりを迎えます。毎日笑って、楽しんで、ぶつかり合う日々はとても充実していました。いつか3年間の思い出話に花を咲かせる日が待ち遠しいです。在校生の皆さん。新しい仲間をあたたかく迎え入れ皆さんらしい誇れるような芦安中学校を創ってってください。みなさんは自慢の後輩です。

そして、3年生。辛いとき、色々な物事に追込まれ大変なときに、みんなと一緒に居ると笑顔になれました。3年間を乗り越えられたのはみんなのおかげです。私たち8人は全く違う環境へと歩みを進めます。不安という気持ちもありますが、芦安中学校で学んだことや多くの経験を生かし、それぞれ頑張っていきます。とても充実した中学校生活でした。



「GIGAスクール構想に向けて」

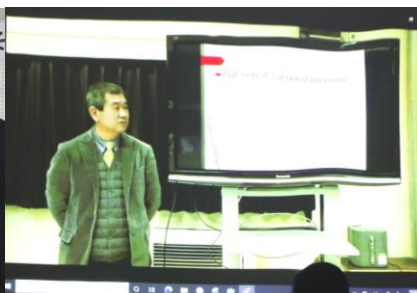
今回は2年生社会科の授業の様子です。まもなく、タブレットが一人一台配布されます。社会科ではすでに配布された後と同等の授業をしています。ICT活用に加えて、子供たち一人一人の反応を踏まえた双方向型の一斉授業をベースに、一人一人の学習状況に応じた個別学習やグループワークを取り入れ、新学習指導要領の柱である「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう取り組んでまいります。



中央教育審議会では「令和の日本型学校教育」として
個別最適な学び + 協働的な学び
 のハイブリッド化を掲げています。
 ↓
ICT学習と対面学習のハイブリット化とも言われます。それぞれが効果的に作用するような指導を目指します。

「3年生を送る会」

3月5日（金）、「3年生を送る会」が行われました。1・2年生は生徒会役員を中心に、これまでお世話になった3年生に感謝の気持ちをこめて準備し、発表しました。3年生一人一人に向けたメッセージ、3年間の振り返るスライド、窪田先生のビデオレターは3年生の心に届いたのではないのでしょうか。



・ ・ 最近の様子から ・ ・



3月11日（木）卒業式当日、バス通学の3年生が「芦安子どもを守る会」会長清水実様、スクールガードリーダーの戸澤聡様に「3年間、見守っていただきありがとうございました。」というあいさつをしました。また、卒業式前日には各種表彰（右欄）を行いました。多くの生徒が活躍してくれました。

教育祭小中学校図工・美術作品展		
中巨摩特選	1年	金田君
	2年	金田君
	3年	倉園さん
県特選	1年	和田さん
	2年	疋田さん
	3年	田中さん
県小中学校創作力くらべ中学校の部		
B部門支部入選	2年	金田君
教育祭小中学校書きぞめ大会		
中巨摩入選	1年	和田さん
	2年	森本さん
	3年	有野さん



← 今年度、高校を卒業した本校卒業生が「進路の報告」に来てくれました。この学年は男子だけ（5名とも男子）の学年でした。「俺たちの時より学校がきれいになっているよな。」等々、懐かしそうに中学校時代を振り返っていました。コロナ感染症のため打ち込んでいた部活動のインターハイが中止になってしまったこと、東京で生活しているのだけれど芦安が思い出深いこと、などを話してくれました。それぞれの道で本校卒業生が活躍してくれることを期待しています。

ご支援ありがとうございました。

結びになりましたが、保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、芦安中学校にご支援をいただきましたすべての皆様方、この一年、本校教育へのご理解と多大なるご支援をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。特に、自然体験活動（わかんじきづくり・巣箱づくり等）が実施できたのは地域関係者のご支援の賜物です。本当にありがとうございました。今後も、少人数教育の良さを生かして、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばせるよう努めてまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

